

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立総社高等学校	
実践者等		山本 裕大	実践日 令和4年10月17日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		英語コミュニケーションⅠ	
対象生徒(学年等)		家政科1年	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☒ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用	
		☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化	
		☐ その他(自宅待機中の生徒へのリモート授業の対応)	
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着	
実践の内容			
(1) 既習事項の確認 教科書を用いてプレゼンテーションをする際によく用いられる英語表現をもう一度全体で確認する。			
(2) グループワーク - グループ内で作成した共有スライドを用いて、グループ内で発表練習をする。 - その後、グループごとに前に出て発表する。 - 発表後、見ている生徒が質問を行い、Formsを用いて相互評価する。			
(3) 家庭学習の指示 クラスルームの質問に、英語でプレゼンテーションを行うことで学んだことを記入するように伝え他の生徒のコメントも読んでおくよう指示する。			
(4) 振り返り 各自、グループが発表した内容について改めて確認する。			
班の発表に対して 37件の回答 2 = ほとんどの人が原稿を読みながら、ある程度はスムーズに発表している。 22 (59.5%) 4 = ほとんどの人がわかりやすくはっきりした声で、前を向いて発表している。 3 = ほとんどの人が具体的な内容をわかりやすく発表しているが、時々原稿を... 2 = ほとんどの人が原稿を読みながら、ある程度はスムーズに発表している... 1 = ほとんどの人が下を向いたまま、なんとなく原稿を読んで小さな声で発表し... 自分の班です コピー			
【本時と家庭学習との連動】 (授業後) - 発表をするためにスライドの共有機能を使い、授業外でも生徒がオンライン上で準備ができるように工夫した。 - 発表内容に対し、生徒から出た質問をまとめさせ、Formsで提出させるようにした。			
難しそうな文をきれいな発音で読んでいた プロジェクトの内容まで調べてすごかった。 間があって聞き取りやすかった 平等にされている地域もある事がわかった。 声の大きい人が多かった どんなそんな企業がふえていけばいいなと思った。 資金なども良くなればと思いました フェアトレード商品を見つけて買ってみたいなと思った。			

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)